

いつもありがとうございます、あっぴーです。

ご参考までに息子の特性をまとめたレポートを掲載しておきますね。
息子の小学校入学時に出したものです。

あれをやってくれ、これをやってくれ、と要求するのではなく、
今現在の、家庭での取り組みをまとめる、と考えると書きやすいと思います。

長すぎず、読みやすく！

【記入例】

名前；
生年月日；
診断名；
診断された年月日；

---はじめに---

息子の特性をまとめさせていただきます。

これは、先生方に、「こう対応して欲しい！」ということでは、まったくないです。

息子の様子がおかしい場合や、パニックを起こした場合に、先生方の対応が少しでも楽になれば
と思い、作成いたしました。

入学前から、見学させていただいたり、いつも配慮してくださる〇〇小学校の先生方に、心から感謝しています。

---本人の特性について---

【視覚優位】

耳で聞くだけの情報よりも、書いてある情報（視覚情報）の方が、頭に入りやすい。
学校では、時間割が掲示されると思います。

幼稚園と異なり、毎日の時間割が決まっていて、授業の時間も決まっているので、本人は安心する
と思います。

また、同じ耳で聞く情報でも、「1番、〇〇、2番、〇〇、3番、〇〇で、おしまいです」のように、体系化さ
れていると、理解しやすいようです。

例)運動会のプログラム

プログラムを持たせると、「今ココ」、「次はこれ」、「これが全部終わったらおしまい」というのが一
目瞭然で、苦手な運動会も乗り切れたという体験があります。

【ゼロか100か、極端な思考】

ゼロか100か、白か黒か、ハッキリさせたい思考回路です。
でも実生活の中では、グレーゾーンがたくさんあります。

「全部できたら良いけど、途中まででも、やらないより良いよね」のような感覚がなかなか理解しがたいようです。

臨機応変にできるよう、少しずつ教えているところです。

【完璧主義】

やるなら完璧にできないと、「ダメだ」と思ってしまいます。

そのため、難しそうなことは、最初から「やりたくない」と思ってしまいます。

例) 縄跳び、鉄棒、玉入れ

「難しそう。できるわけない。ぼく、見てるね」となってしまうことがあります。

「できない」と「できる」の間に無数の段階があることを教えています。

また、「できない」＝「ダメ」ではないと教えています。

ちょっとでも失敗すると、「ダメだ」としてしまうので、「失敗はいいこと」と教えています。

- ・失敗すると、覚えるし、より上手になっていく。
- ・お父さんもお母さんも、たくさんの失敗を経て今に至る。
- ・何より、「失敗する」ということは、「何らかのチャレンジがあった証拠」なので、すばらしいことである。

などと繰り返し教えているところです。

【理由が分かると納得する】

「どうしてこれをやらないといけないのか」が分かると、納得し、素直に言うことを聞きます。

「これをやったときのメリット」、「やらないときのデメリット」を具体的に伝えたと、よく理解し、安心するようです。

【汚いものが嫌い】

上記に関連しますが、理由説明の中でも、「汚い」「くさい」には、特に反応します。

例)上履きを持って帰りたくない！

「上履きを持って帰らずに、ずっと履き続けていると、汚れて臭くなるよ」

「汚い」、「くさい」はとにかく避けたいので、すんなり納得しました。

例)「学校に行くまえに歯磨きしないと、口がくさくなっちゃうよ。」

→すんなり歯磨きする。

この性質を善用して、生活習慣を教えているところです。

【すぐ怒る】

思い通りにならないと、すぐに怒り出してしまいます。

例)「こっちの子から順番に○○しましょう」というとき、自分が最後のほうだった場合。

「ぼくが最初にやりたかったのに！」と、怒ったりします。

最近ではそういうときも、こぶしを握りしめて、どうにかこらえることができる場面も増えています。

【言葉の遅れ】

IQが伸びたとはいっても、言葉は非常に不自由があります。

まだ流暢には話せません。

言い間違いも多いです。

語彙も少ないですし、理解力も低いです。

分からないときは、そのままにせず、「もう一回言って」とか、「○○って何？」など、

「分からないことを伝える」ことを練習しています。

できないときそのままにせず、「手伝って」と言う練習もしています。

○○総合病院で、言語訓練(ST)を、毎月受けています。

【聴覚過敏】

特定のアラーム音の中で、極端に苦手な音があります。耳をふさいでうずくまります。

その場合は、そのまま放っておくと、時間の経過により落ち着きます。

人が大勢いる場所のざわざわ感も苦手です。耐えられますが、貧乏ゆすりをするなど、心の落ち着きを失う場合があります。

【運動能力の低さ】

体幹が弱く、体の使い方が下手です。手先も不器用です。

〇〇総合病院で、作業療法(OT)を定期的に受けています。手先の練習、体のバランスを取る練習などを行っています。

---最後に---

お読みいただき、本当にありがとうございます。

本人の状態によっては、たとえば宿題の分量を調整させていただくなど、その都度相談させていただければ嬉しいです。

給食についても、極端な偏食がありますので、必要があればおにぎりを持参するなど、相談させていただければと思います。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

追記；

息子の障がいに関して

本人にはまだ告知しておりません。

言葉を選び、タイミングを見て、息子に一番プラスになる方法で話していこうと夫婦で検討中です。

つきましては、今の段階では、障がいについて本人に伝えることは控えていただけますと、大変助かります。

ご理解に心から感謝しております。

以上

日付、署名